



▼家族コーラス「左座家」(左から由紀さん、彩音さん、彰さん、守さん)



全国大会出場が決定

家族コーラス「左座家」(下田口区)

下田口区の左座さん家族による家族コーラス「左座家」が、3月22日(木)～25日(日)に福島県で開催される第5回声楽アンサンブルコンテスト全国大会への出場が決定しました。

「左座家」は、平成14年に家族4人(守さん、由紀さん、彰さん、彩音さん)で結成した混声コーラス。平成16年には第19回全国童謡歌唱コンクール(ファミリー部門)で金賞を受賞するなど、幅広く活躍。家族ならではの声質を生かしたハイモニーと「美しい日本語」による歌唱を特に心掛けて演奏し、大会だけでなく地域や学校、障がい者支援グループのイベントなどでも積極的に活動しています。

今回出場が決定した大会は、一昨年の大会に続いて2回目の出場。大会に向けて守さんは、「前回は『審査員特別賞』を受賞しましたが、演奏自体は満足できるものではなく、不完全燃焼だったため、再び挑戦したいと思っていました。今大会では悔いのない演奏ができるよう、しっかりと準備を進めたいです」と抱負を述べました。

ふるさとの景観を大切に

龍野小児童が「学びの森」に苗木を植林

1月30日(月)上早川の鳴山にある龍野小学校(清田設郎校長90人)の「学びの森」で、同小5・6年生33人が苗木を植林しました。

自然と触れ合いながら、地域の景観を守ることを目的に実施。上早川ダッシュ村の代表・井藤直行さん(上早川三区)らの指導の下、児童たちは苗木を1人2本ずつ植林。お互いに協力し合って丁寧に植え、自分の名前と植林日を書いた手作りプレート苗木に付けました。

同小では、地域の協力を得て、「学びの森」にサクラなど約1,000本を植林する予定です。



▲上早川の鳴山にある「学びの森」で、児童たちは植林



▲糸田公民館で開催された糸田区産業文化祭

区民の作品展示で活性化

糸田区産業文化祭

1月26日(木)・27日(金)糸田公民館で、糸田区産業文化祭が開催されました。

同区(井芹睦雄区長116世帯)と同区老人会「福寿会」(本郷建司会長)の共催。区民が制作した作品の発表を通して、地域の活性化と交流を目的に、昨年が続いて2回目の開催。会場には、書や水墨画、工芸品、パッチワークなど作品約100点が展示され、多くの来場者が訪れ作品を鑑賞しました。

本郷会長は「老人会だけでなく、区全体に呼び掛けて、今年は開催しました。作品をより多くの皆さんに見ていただくと、さらに創作意欲が湧くと思います。今後も地域の活性化のために、文化祭を続けていきたいと思えます」と述べました。

献血推進活動を表彰

自動車整備工業組合益城支部青年部

2月14日（火）町役場町長室で、平成23年度献血推進優良団体などに対する知事感謝状伝達式が開催され、熊本県自動車整備工業組合益城支部青年部（下田泰紀代表）が表彰されました。

同感謝状は、長年にわたり、献血推進に関する活動に貢献した団体などに贈呈。同支部は組織として毎年献血に協力し、積極的な呼び掛けを内外に行うなど献血推進に貢献しています。

伝達式では、支部を代表して田上慎太郎さん（横田区）が、奥名克美町長から感謝状を贈呈されました。



▲献血推進優良団体知事感謝状を贈呈される田上さん



▲力走してチームに貢献した本町出身選手たち

本町選手が駅伝で力走

郡市対抗女子駅伝・郡市対抗熊日駅伝

1月29日（日）第29回熊日郡市対抗女子駅伝大会が開催され、上益城郡チームは6位に入賞しました。

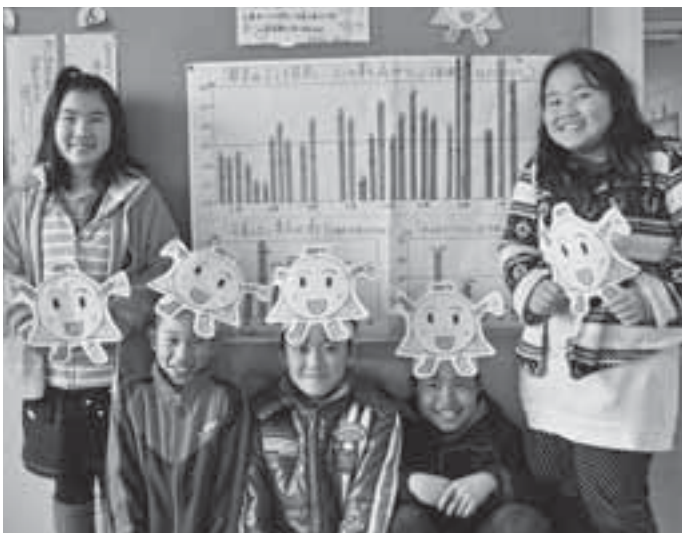
本町からは、1区に内村春菜競技者（甲佐中1年・吉田区）、2区に田上舞花競技者（甲佐中3年・上早川一区）が出場し、補員に米村絵里香競技者（東稜高2年・芝原区）が選ばれました。

また、2月12日（日）第38回郡市対抗熊日駅伝大会が開催され、郡チームは3位でした。

本町からは、1区に荒瀬優馨競技者（甲佐中1年・東寒野区）、10区に岡本峻悟競技者（宮崎産業経営大3年・古閑区）、11区に梅本祥太競技者（甲佐中3年・和市内区）、13区に梅本龍太競技者（甲佐中3年・同区）が出場しました。

白旗小が最優秀賞を受賞

平成23年度県学校版環境ISOコンクール



▲白旗小で、中心となって活動した環境委員会の児童たち。毎月実績を公表したグラフと啓発キャラクターとして作製した「白旗エコマン」

2月24日（金）県上益城教育事務所で、平成23年度県学校版環境ISOコンクール表彰が開催され、白旗小学校（作田潤一校長96人）が最優秀賞を受賞しました。

同コンクールは、自ら考えて環境保全活動に関わることで、環境にやさしい心情をはぐくむことを目的として、県下の全小・中学校が参加。学校版環境ISOとは、環境マネジメントシステムの国際規格に基づき各校が定めた環境美化項目に沿って、児童、職員などが一体となって取り組み、実績評価と見直しを行いながら、環境を改善させていくためのプログラムです。

同小では、環境委員会（田端綺宇委員長・6年・辺場区）を中心に取り組みを実施。電気や水道の使用料やごみの排出量を点検集計してグラフで掲示したり、啓発キャラクターとして「白旗エコマン」を作製して活動と呼び掛けたりするなどして、同校の環境美化を継続して推進したことが評価されました。

委員長を務めた田端さんは、「ごみ減量や紙の再利用など、これまで続けてきた当たり前のことをやっただけなので、受賞は驚いています。今後は、掃除の徹底などにもさらに力を入れたいです」と述べました。